

女性・母親・会社員の視点から小平の“未来”を創造します！



# 竹井 よこ 通信

発行者 小平市議会議員 竹井ようこ 会派 フォーラム小平

第10号 (2016年12月発行)

竹井ようこ後援会  
〒187-0041 小平市美園町1-1-15  
TEL/FAX: 042-207-1232  
E-mail: info@takeiyoko.com  
公式HP: <http://takeiyoko.com/>

師走を迎え、なにかと気ぜわしい季節になりました。  
皆様に支えられ、充実した一年でした。ありがとうございました。  
インフルエンザの流行が始まっています。こまめな手洗いや適度な加湿・換気に心がけるなど、体調管理にはお気をつけください。



小平市議会Webで  
定例会一般質問の動画配信中

<http://www.discussvision.net/kodairasi/2.html>

## ◆9月定例議会報告◆

9月議会においては一般会計の補正予算が可決されました。

- **保育園は来年度7園が新設**。4園の建築補助、3園の補助金の増額が決定しました。
- 新たに **B型肝炎定期予防接種**および**骨髄移植ドナー助成**が開始されます。
- **上宿小学童クラブ新設**の設計委託費増額、**花小金井小学校の拡張用地購入**も決定。

## ◆竹井ようこの一般質問◆

### 1. シニアにやさしい街総合ランキング (2016.8.9)に見る小平市の現状について

【質問】

日本経済新聞社の「シニアにやさしい街ランキング」では、小平市は特に「生活支援・予防」と「社会参加」の偏差値が低いが、どう考えるか。

【回答】

平成28年3月に介護予防・日常生活支援総合事業を開始、同年5月から生活支援コーディネーターを配し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。

### 2. 市内の井戸の活用について

【質問】

小平市では震災対策用井戸(飲料水限定)は84か所だが、生活用水の確保のためにも増やしていくべきではないか。(世田谷区では生活用水確保のため1,525か所を震災対策用井戸として指定)

【回答】

市では飲料水の確保を第一に考え、貯水槽等により応急給水として、全市民に対し1日一人当たり3リットルの飲料水を2週間分確保している。

ランキングの調査時点(平成26年12月～27年1月)では未策定であった介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、徐々に整備が進んでいます。見守りネットワーク、生活支援コーディネーターの充足、病院や施設の入退所時の移送サービス、介護支援ボランティアの仕組みづくりなど、取り組むべき課題は多くあります。

引き続き、地域包括ケアシステムの構築に向けて議会のチェック機能を働かせていきます。

生活用水も確保はしているが、何日分あるという把握はしていないという回答でした。

いざという時の生活用水は非常に重要であり、マンホールトイレを用意できたとしても流す水がなければ使えません。

避難所に井戸を設けたり、飲料水には適さなくても生活用水として使える震災対策用井戸として活用できるように引き続き訴えていきます。

### 3. 保育園建設時の市からの住民説明について

私立保育園建設時には事業者が地域住民を対象に説明会を開いているが、市も説明責任を果たすべきである。

【回答】民間の土地に民間の事業者が保育園を建てるのだから、市は対応しない。

私立保育園の建設には多くの補助金も使われています。市の事業である以上、市も説明会に参加するなど、住民の疑問や質問に答える責務があると考えます。

### 活動記

8～11月の主な活動(順不同)

#### 【子育てナンバーワンのまちへ】

子どもの貧困対策セミナー、ふれあいファミリーコンサート、ルネこだいら夏休みフェスティバル、子ども劇場NPO発足交流会、14小青少年対、こだまフェス、14小・2小運動会、学童保育運動会、市と学童保育意見交換会、「子どもの自己肯定感を高めるためのかわり方」講演会、14小伝承あそび、14小地域参画授業、子ども子育てフェスティバル(ここフェス)、1中合唱コンクール、1中オータムコンサート、ゆうやけまつり

#### 【ワークライフバランスが実現できるまちへ】

マイスタイル緑日、コワーキングスペース「すだち」オープニング

#### 【高齢者、障害者を孤独にしないまちへ】

たいよう福祉センターまつり、ほっとスペースさつき主催講演会、熟年いきいき会主催講演会、サタデーひだまり、小平市高齢者福祉大会、特別支援学校バザー、コミュニティスペースこげら、「相模原の事件」メディアカンファレンス、小障連意見交換会、福祉バザー

#### 【ICTの活用で人と人をつなぐまちへ】

Coder dojoこだいら

#### 【グローバル人材が育つまち、若者が活躍できるまちへ】

小平ハートピア、「私たちは買われた」展、国際交流フェスティバル

#### 【にぎわいのあるまちづくり、環境、安心安全 その他】

市民活動ネットワーク「夏の交流会」、一橋学園南口商店街納涼盆踊り大会、NTT労組および退職者の会各支部・本部定期大会、情報労連定期大会、小平駅前サマーフェスティバル、あかりまつり、大沼田神社祭、響の会コンサート、小平観光まちづくり協会設立記念イベント、環境フェスティバル、「市民と企業が手を組めば」ワークショップ、土建まつり、「拡がりつつある格差社会」講演会、花小金井南中学地域開放型体育館懇談会、「都市緑地の重要性」シンポジウム、秋の市民交通安全教室、熊野宮例祭・神幸祭、ファーマーズマーケット視察、まちづくりカフェ、連合関東ブロック地協議会推進会議、連合三多摩幹事会・いわき市視察、小平市表彰式、新旧議員交流会、暮らしを楽しむ手ごと市、小川西町公民館まつり、市民スポーツまつり、ブルーベリーワインまつり、「好きです平和、けんぽうって誰のためのもの？」講演会、築地市場視察、憲法カフェ、えんとつフェスティバル、市民まつり、さよなら原発映画上映会、市民と議会の意見交換会、産業まつり、防災体験(14小)、収穫祭、環境の会講演会、「標的の村」上映会、盆栽展、総合防災訓練、小平市消防団消防操法大会、ふれあい消防まつり、NPOフェスタ、「動き出す安保法制と自衛隊」講演会

#### 【行政視察】

函館市、室蘭市、伊達市、狹山市、所沢市、立川市

### 4. 育児する父親のためにも日常的なことから改善を

子育て中のパパからのご意見をふまえ、男性用トイレの中に子ども便座や男性が気兼ねなくアクセスができる、おむつ替え設備を整えるよう要望。加えて、市庁舎内の設備についても広報が不十分と感じることから、広報の工夫も要望しました。

### 新しい看板設置！

#### 学園東小西通りの丁字路

左右ともに建物の背が高く、横断歩道を渡る人にとって、「出会い頭に右側に寄ってきた自転車と衝突しそうになる」という相談を市民の方から受けました。

市と協議した結果、小平市初の試みとして「やめよう自転車右寄り右折」という看板を設置することになりました。同時に「一中通り」にも設置。

今後他の道路でも必要に応じて設置される予定です。



#### 竹井ようこプロフィール

#### 小平市仲町在住

#### 【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ 名古屋育ち 名古屋市立菊里高校卒業

南山大学外国語学部英米科卒業

1988年 4月 日本電信電話(株)入社

1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向

Didier & Associates法律事務所(ベルギー)に派遣

1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)

2015年 4月 小平市議会議員選挙にて初当選

家族：夫、長男(大学生)、長女(大学生) 柴犬(♀)



フェイスブックは

「竹井ようこ」で検索！

竹井ようこホームページ

<http://takeiyoko.com/>